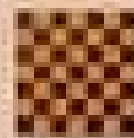


そらまめ通信



H29年2月号(第10号) 宮津武田病院 透析室だより

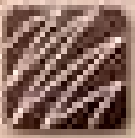
早くもそらまめ通信 10号目となりました。雪の積もる寒い日が続いていますが、体調管理に一層注意してもらい感染予防に努めましょう。特に送迎利用の患者様は接触予防のために乗り合わせの調整が必要となりますので早めに連絡、受診してください。



リハビリ療法が始まります

リハビリテーション科
理学療法士 富田尚希

2月よりリハビリテーション科が開設されました。

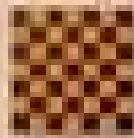


2月からこちらでお世話になっております理学療法士の富田尚希と申します。

以前は京都市内にある総合病院に勤務し、主に急性期の理学療法に携わっていました。

この2月から宮津武田病院リハビリテーション科が開設され、そのスタッフとして携われることを大変光栄に思っております。

目標は地域の皆様に必要とされるようなリハビリテーション科にすることです。



意見交換会

今回の参加者は患者様 8 名、
患者様ご家族 2 名、
病院スタッフ 10 名でした。

透析患者様の《足》をテーマ
に「健康で綺麗な足であるため
に～透析室での取り組み～」
について八木係長より、

「自宅で出来るフットケア
について」 藤本看護師より
講義がありました。



【入院中に感じた事】

(患者様より)

・夜中に看護師の笑い声、話し声がうるさく注意した。

(看護部長より)

・ご指摘いただく事により、職員へ指導が出来るので今後も意見を言って欲しい。

また個別にご意見を聞けるように入院時にアンケートを実施するように現在検討している。

(患者様より)

・病室料金が他の近隣病院と比べると高い。

(事務長より)

・私立病院と公立病院の運営状況についてはご理解をいただきたいが、検討をさせていただきます。

(患者様より)

・夜中の他患者のいびきがうるさくまったく寝られない。

(看護部長より)

・部屋の組み合わせ等の対応は行っていますが、困難な事もありご理解をいただきたい。また、部屋についても出来る限り配慮出来るように努力をします。

【透析室で感じたこと】

(患者様より)

・他の患者のオムツ交換の際の臭気がきつく、我慢が出来ない。

(看護部長より)

・色々に対応策は行っていますが、ご迷惑をお掛けしていると感じています。今後も対応策を検討していきます。

お知らせ

次年度も

日帰り旅行（春）

意見交換会（秋）は

継続します。

透析室運営に関するアンケート結果

(平成 28 年 11 月実施)

○入室、穿刺時間について

- とても良い (25%) 良い・問題ない (63%)
やや不満 (6%) 不満 (0%) 未記入 (6%)
・すぐに始めてくれて、気持ちがいい。・針を刺すときに痛い

○透析中の診察について

- とても満足している (31%) 満足している (63%)
やや不安、やや不満 (0%) 不安、不満 (6%) 未記入 (0%)

○自宅で体調不良が発生した場合についてご不安な点があればご記入ください。

- ・今のところないです。・1人で生活(家族が近くにいない)しているので不安



○急なベット変更があることに対して、どのように思われますか？

- ・仕方ない ・全く問題ない ・どこのベッドでも一緒
・別に何とも思わない ・同じところがいい(落ち着かない)

○スタッフの身だしなみ、態度、言葉づかい等について

- とても良い (63%) 良い (37%) やや悪い (0%) 悪い (0%) 未記入 (0%)

- ・話を聞いてもらえるので助かる ・全員気持ちよくしてくれるので満足している
・コミュニケーションを積極的に図っていると感じる。良いスタッフばかり。
・楽しい透析をしている



○送迎について

- とても利用しやすい (38%) 利用しやすい (31%) やや不便 (0%) 不便 (0%) 未記入 (31%)
・大変助かっている ・迎えの運転手はすごい安全運転してくれるのがうれしい

○送迎に関するご意見、ご要望があればお聞かせください。

- ・自身の事で時間が遅れると、運転手に迷惑をかけているのが心苦しい。
・心配りがありよくしてもらっている
・鈴木さんには感謝しています

○その他、ご意見やご希望があればご記入ください。

- ・透析の終わりが最後になるので少し申し訳ない気持ちがある
・栄養相談もありがたい
・個室は入院料が高くあまりにもおそまつ
・患者自身の体重管理があまり
・入院時思ったのは、あまりにも室内灯が古いので苦しかった。
せめて室内灯は新館のようにしてはどうか？



ご協力ありがとうございました。



なぜ？なに？検査データ講座

2015 年末の透析患者の平均年齢は 67.89 歳（日本透析医学会より）、当院平均年齢 75.19 歳と、全国平均より高齢な方が多いです。なので透析患者様が検査等で、現在のご自身の体の状態を知ることとは、元気に長生きするために非常に大事なことです。

生活習慣の管理と食事療法などで、水分や塩分のコントロールができているか、健康の状態などは、日々の血圧や尿量、血液検査、レントゲン、エコーなどから知ることができます。



検査データで何がわかるの？

I、透析がうまくいっているかわかる

II、水分や塩分のコントロールができていくかわかる

III、栄養や筋肉量の状態がわかる

IV、合併症の心配がないかどうかわかる

V、基礎体重が適正かどうかわかる

血圧

目標値：週初めの透析前血圧で140/90mmHg

(心機能低下のない安定した透析をされている方に限り)

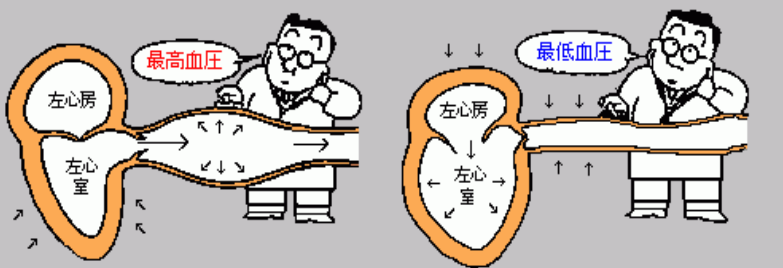


血圧は、除水や体重増加に影響を受けやすく、透析終了時の収縮期血圧が 180mmHg 以上、110mmHg 以下の場合、心血管合併症のリスクが上がります。

透析前・中・後の血圧、家庭血圧などを加味し薬剤やドライウェイトを検討する指標となります。

家庭血圧は少なくとも朝、晩測定し記録しましょう。

測定時はトイレ後や起床直後、食後、就寝前など、体の条件を同じにして測定してください。



上記の目標値は目安であり、心機能や血圧の値は個人で異なります。

ご自身の普段の血圧を知ることが大変重要となります。

血圧記録手帳は病院で用意しております。

透析時間の長さ

目標：頻回または長時間



日本透析医学会の統計調査報告で、多くの患者さんが週3回の4時間程度で透析を受けています。

一方、在宅血液透析を受けている患者さんでは治療の自由度が高く、長時間または頻回短時間透析が可能で、生命予後が良いという報告があります。

つまり週あたりの総透析時間が長いと、長生きできると言えます。

次号は「透析がうまくいっているかわかる」について解説します。